

施政方針及び当初予算案

予算の説明に先立ちまして、令和3年度の町政運営に関する基本的な考えを申しあげた上で当初予算案と主要事業について御説明申し上げます。

さて、本日冒頭の御挨拶でも申し上げましたが、昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に始まり、それに続くコロナ不安に振り回された一年でした。

現在に至りましても、社会経済活動の停滞や感染の再々拡大、それに伴う救急医療の危機的状況の再来など不安は払拭できない状況が続いています。そのような中ですが、感染予防、重症化防止の効果が期待されるワクチンも供給が開始され医療関係者への先行接種が始まりました。

政府は、ワクチンの確保を進め、4月12日以降、65歳以上の優先接種を開始するとしています。

ただ、現時点でのワクチン配布計画では、確実に各市町村に1箱届くのは4月26日の週ということです。それが487人に2回接種できる量です。

本町では、既に皆様もご存じのとおり、ワクチンが届き次第、接種を開始することができるよう、

集団接種の手順を確立し、安全に接種できるようパート毎の訓練を繰り返して実施しています。

さらに来週、3月8日に全体を通しての訓練も計画しており万全を期したいと考えているところです。

また、今月下旬にはコールセンターの開設を予定しています。国において整備が進んでいるワクチンの解説をもとに、この新しいワクチンに対するの疑問などにお答えができるよう準備を進めています。

さらに、ワクチンの配布数量とその到着期日をはっきりしたタイミングで、順次このコールセンターで接種の予約受け付けを行う予定です。

コロナ禍において、世は、在宅勤務やWEB会議を導入し、学校でも遠隔授業が行われるなど、デジタル化の広がりが顕著であります。この動きは危機をチャンスに転じるときである。前向きに捉えるべきと受け止めています。

本町も、昨年取り入れた防災行政無線に替わる「いねばん」を更に充実させ、双方向性のある新たな利活用を模索してまいります。

一方、行政の仕事においては、やはりリモートでは補いきれないものがあります。先般も区長協議会や農林漁業者の皆さんと、感染対策に努めた

うえで、対面で意見交換させていただきました。そのことにより、互いに新たな課題や気づきがあり、人と向き合う大切さを痛感したところです。

行政サービスの価値は、その中身が半分、もう半分は、その施策が醸す安心感や雰囲気であり、何よりもそれを扱う人間の接し方で決まると心得ます。

今は、社会的な距離を十分取りつつも、町民の皆さんにしっかり寄り添い、心の距離を近く保てるよう、職員共々に頑張ってまいります。

さて、このコロナ禍の中、見えてきたものがあります。それは、政治経済文化の東京一極集中、都市部への人口集中の危うさです。

この危うさを回避し、持続可能な社会を目指すためには、地方の農山漁村に重きを置いた分散型低密度社会の構築が望まれます、すなわち我々、地方の出番です。

伊根町は、多くの課題や少子高齢過疎という難題をも抱えています。今後も新たな行政ニーズは生まれます、しかし、これからは地方の時代だということを、しっかり自覚し歩を進めなければいけません。

この町の現状や施策を、また己自身をも冷徹に

見つめ直し、足らざるものを補い、町民の皆さんとのコミュニケーションと協調の中、意欲と気概を持って挑み続けてまいります。

令和3年度に実施する事業は、コロナ禍で不安定化している町内の経済活動を支えることと併せてコロナ収束後を見据えた事業展開を計画しています。

そのため、新年度当初予算と合わせて、今年度予算を増額、繰越をして事業を実施します。

当初予算では、

平田地区内において寄贈を受けた伝統的建造物を活用し、文化振興と多世代交流を目的とした施設の整備改修に係る設計費用などを計上しています。

施設の想定としましては、図書情報室、ICTルーム、学習ルームなどを備え、低年齢層への情報化教育の充実と高齢者のデジタルデバイドの解消のための施策の充実を図りたいと考えます。

また、そういった事業を通じ、幼児から高齢者が一緒に情報学習に取り組むことによる多世代交流や、講師を福知山公立大の情報学科にお願いするなど、高等教育機関との連携も視野に入れます。

再生可能エネルギー活用型地域振興事業では、

経済産業省のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を財源として、再生可能エネルギーを活用した地域振興に取り組みます。

国は、2050年までに温室効果ガスの排出を国全体でゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会を目指すことを掲げ、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用を推進しています。本町におきましても、3年目となる再生可能エネルギーの取り組みですが、基礎調査、可能性実現調査の成果をもとに、目指す再エネ活用の将来像を定め、まずは、令和4年度にコミバスをEVデマンドタクシーに移行する前段の実証実験運行を行います。交通手段という身近なことからエネルギーの使い方・意識を変える仕組みづくりをスタートさせたいと考えています。

将来的には、大規模な再エネ発電を主電源とした地域新電力の検討と再エネの地域内循環・地域内消費によって産業の活性化、競争力の強化とともに行政サービスを充実させます。

もう一步先へ行けば町民の皆さんに安い電力を提供するというようなことにもつなげ、農林漁業、観光、移住定住、様々な分野において再エネを活用した施策を展開させ持続可能な「ええまち」の実現を検討してまいりたいと考えています。

令和2年補正予算分では、「感染症対策事業（新

型コロナウイルスワクチンの接種体制整備)」があります。

4月に予定されている新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向け、国が示す接種順位に従い町民の方々がワクチンの接種を受けられる体制（接種券、予診票の印刷・発行、コールセンターの設置、システム改修、医療機関への委託費）を整備します。

また、観光振興の施策では、令和2年度に設計業務を実施しました伝統的建造物を活用した公設民営型飲食施設の整備を実施いたします。

施設の経営は、地元の水産会社、伊根浦漁業株式会社が行い、その日水揚げした新鮮な魚が食べられる和食が中心の飲食店、昼、夜の営業を行う予定です。魚のみならず、他の食材も町内産を積極的に使用し、地元産材の消費拡大によって、観光振興と農業・漁業の産業振興を一体的に行いたいと考えています。

地域振興券発行事業では、新型コロナウイルス感染症の第3波に伴う緊急事態宣言によって影響を受けた町民への経済的支援と町内消費の喚起により間接的に町内事業者を支援するものです。

具体的には、伊根町内の店舗で使用できる地域

振興券を全町民1人1万5千円分配布いたします。予算可決後、速やかに町民の皆さんのお手元にお届けし、使用期限は5月31日までとします。なるべく早く使っていただき、消費効果をいち早く事業者に届けたいという意図です。

夫婦2人で3万円となります。少しでも町民の方の家計がよくなり、町内事業者の経営がプラスに転じればと願うものです。

それでは、当初予算の提案説明に戻らせていただきます。

予算書1ページを御覧ください。

また、別刷の令和3年度伊根町当初予算（案）の3ページを併せてご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、29億7,100万円で、前年度と比較し、6,100万円 2.0%の減額となっています。

それでは歳入から説明いたします。一般会計は事項別明細書に詳細がございますのでそちらをご覧ください。

14,15ページをお願いします。

町民税は、6,843万7千円で、前年比81万3千円の減額です。固定資産税は、7,346万2千円で、前年比66万2千円の減額です。町税全体では270万7千円、1.7%の減額です。

18,19ページを御覧ください。

地方交付税は、14億2,300万円で、4,700万円の増額を見込みました。地方財政計画で、地方交付税は、0.9兆円、5.1%の増、と昨年（0.4兆円、2.5%の増）を上回る伸びが示され、また、昨年度、地方法人課税の新たな偏在是正措置のため創設された「地域社会再生事業費」が引き続き計上されていることなどを勘案し一定の留保財源の確保も含めてこの額といたしました。

分担金及び負担金は、全体で713万3千円です。前年比166万円、18.9%の減となっていますが、昨年度の防災施設整備事業（屋外拡声局整備）の分担金の減などによるものです。

次のページにかけての使用料及び手数料では、総額1億620万1千円で、前年比478万円、4.3%の減額です。公共残土処分場使用料、筒川文化センター使用料の減額などによるものです。

国庫支出金は、2億7,334万6千円、前年比1,659万2千円、5.7%の減額です。エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金の減額によるものです。

22,23ページを御覧ください。

府支出金は、2億894万円、前年比1,987万1千円、10.5%の増額です。水産物供給基盤機能保全事業補助金の増額によるものです。

28,29ページにかけての

財産収入は、435万6千円、前年比13万4千円、3.2%の増額となっております。

寄附金は、1,430万円で、前年比200万円、12.3%の減で、ふるさと応援寄附金の減少によるものです。

繰入金は、3億3,391万5千円、前年比3,479万6千円、9.4%の減額です。公共残土処分場管理基金繰入金の減額などによるものです。

30,31ページを御覧ください。

繰越金は、2,000万円で前年度同額です。

諸収入は、3,403万4千円、前年比550万5千円、19.3%の増額で、学校給食を公会計化することに伴う教職員の給食費実費負担分を計上したことな

どによるものです。

32,33ページを御覧ください。

町債は、3億2,700万円、前年比7,760万円、19.2%の減額です。

次に歳出です。 34,35ページを御覧ください。

別刷りの方は、2ページを御覧ください。

議会費は、4,529万5千円、前年比46万7千円、1.0%の増額。

続きまして、総務費です。36,37ページを御覧ください。

総務費全体では、5億1,493万4千円、前年比2,451万4千円、4.5%の減額です。

42,43ページを御覧ください。

文書広報費では、前年度は防災行政無線設備管理運用費で、戸別受信機の回収、中継局の撤去工事を計上しておりました1,800万円余りが減額となっています。

46,47ページを御覧ください。

地域公共交通確保維持費では、新型コロナウイルス感染症の影響により、幹線バス路線の乗車人数が大きく落ち込んでおり、前年と比較して多額の

地方バス路線維持費補助金が必要になると見込んでいます。

また、伊根町コミュニティバスは、令和4年度からデマンドタクシー方式の運行に移行することとし、その協議を行ってまいります。それに併せまして、令和元年から2年間実施しました伊根バスの利用促進事業は令和2年度末をもって終了し、令和3年度は通常の1乗車150円の運賃に戻します。

48,49ページを御覧ください。

伝建物活用事業は、先ほど説明させていただいたものです。

50,51ページを御覧ください。

再生可能エネルギー活用型地域振興事業についても先ほど説明のとおりです。

次に民生費ですが、5億7,489万8千円 前年比2,049万円 3.7%の増額です。

77ページを御覧ください。敬老事業です。

令和2年度の敬老事業（敬老会）は、コロナ禍の中で密を避けるため中止せざるをえませんでした。次年度についても現時点では必ず実施するということを断言することはできません。しかし状

況を注意深く見ながら実施可能な方法が見いだせるものであれば実施すべく、予算は用意をさせていただき方針です。

次に衛生費は、2億1,751万7千円 前年比 5,092万9千円 19.0%の減額です。

減額の主な要因ですが、100,101ページをご覧ください。

塵芥処理費で宮津与謝環境組合負担金が、2,102万8千円、前年比 3,882万2千円の減額となっています。関連工事など建設関係が完了し、維持管理経費ベースでの負担金となったことによるものです。

続いて農林水産業費は、4億537万9千円で、前年比815万4千円 2.1%の増額です。

108,109ページを御覧ください。

農林業関係事業では、農業振興補助金等交付事業の中で前年度は「移住促進住宅整備事業補助金」を480万円計上しておりましたが、近年の利用実績や現在相談を受けている案件がないことから計上を見送っています。相談があった際には、実施を見極めたうえでの予算計上と考えております。

110、111ページを御覧ください。

林業費では、京都府の風力発電事業が終了したことにより、太鼓山風力発電所管理事業を計上しな

いことなどで540万円余りの減額となっています。

116,117ページを御覧ください。

水産振興事業の沿岸漁業振興対策事業補助金では、令和2年度補正で実施した大型定置網に設置する潮流計測機能を持った魚群探知機整備に対する支援をさらに今年度も実施いたします。

漁港管理事業では、伊根漁港、泊漁港、本庄漁港の施設内の舗装や浚渫、泊漁港の侵入防止柵など、地元漁業者からの要望に対し、きめ細かな対応を図ってまいります。

次のページを御覧ください。

漁港機能保全事業費の水産物供給基盤機能保全事業で、大浦第一岸壁保全工事を計上しています。単年度あたりの事業費は増減しますが水揚げ作業との調整を図りながら概ね4年の事業期間で産業基盤の長寿命化を図ります。

次に商工費です。

1億508万3千円で、前年比573万円、5.2%の減額です。126,127ページを御覧ください。

観光施設整備事業は、老朽化した七面山下の公衆トイレを新しくするものです。

次に、土木費は、2億7,125万6千円 前年比761万6千円、2.9%の増額です。132,133ページをご覧ください。

道路維持費の町道管理事業では、社会資本整備総合交付金を活用しながら、亀島本庄浜線津母トンネルの改修、同線新井地区の舗装改良、そのほか地域から要望があった畑谷峠線、滝根越山線、菅野家廻り線などの修繕工事を実施いたします。

134、135ページを御覧ください。

道路新設改良費では、継続の亀島本庄浜線法面防災工事と町道辻道線の改良工事の仕上げを行います。

次に消防費です。9,935万1千円、前年比1億405万2千円、51.2%の減額です。

140,141ページを御覧ください。

災害対策費が前年比1億514万9千円の減額となっています。「いねばん」に連動する屋外拡声局整備事業の完了によるものです。

次に教育費です。2億7,507万5千円 前年比7,412万8千円 36.9%の増額です。150,151ページを御覧ください。

学校管理運営費で、ページの中段あたりをご覧ください

ただきますと、賄材料費 534万3千円があります。令和3年度から学校給食会計を公会計化するもので、これまで給食費無償化事業として保護者に対する補助金として計上していましたが、材料代購入費として直接執行する形に切り替え、校長管理の会計から町の直接管理に移管するものです。同様に中学校の学校管理費でも給食費の公会計化を行っています。

152,153ページを御覧ください。

学校管理費の続きの工事請負費で、3,316万9千円計上していますが、これは小学校2校の外回りの老朽化が進んでいることから壁の亀裂や雨漏り部分の修繕などを行うものです。

公債費は、4億5,801万9千円で、前年比1,800万7千円 4.1%の増額です。

議案第2号

令和3年度伊根町国民健康保険特別会計予算 です。

179ページをご覧ください。以後の特別会計の総額は、別刷りの1ページを御覧ください。

なお、特別会計は総額と主なもののみの説明と

させていただきます。

事業勘定の歳入歳出予算の総額は、3億4,039万2千円で、

前年比322万9千円 1.0%の増額です。

伊根診療所勘定の歳入歳出総額は、9,340万9千円で、

前年比351万9千円 3.9%の増額です。

本庄診療所勘定は、歳入歳出総額は、7,164万9千円で、

前年比1,264万4千円 15.0%の減額です。

事業勘定は、財政運営主体である京都府からの通知額をもとに医療分は財政調整基金を活用した前年据え置き、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、府からの通知に基づいた額を想定しております。

次に伊根診療所勘定です。

208,209ページを御覧ください。

歳入では、新型コロナウイルス感染症対策で慢性疾患に対しては長期処方を行っていることから1款 診療収入の減少を見込んでいます。そのため、7款 繰入金の一般会計繰入金が増加します。収束までの間この状況は続くものと想定しています。また、

事業勘定繰入金を電子カルテシステム整備の財源として計上しています。

210、211ページをお願いします。歳出では、1款 総務費が電子カルテシステム更新費用を計上したため増額となっています。

続きまして、本庄診療所勘定です。

228,229ページをご覧ください。歳入です。

1款 診療収入が伊根診療所と同様の理由で減額となっています。7款 繰入金は、前年度の電子カルテ整備の特別調整交付金が次年度交付見込みのため事業勘定繰入金として歳入計上しています。

11款 町債は前年度に空調システム改修を実施したものが完了したことによる減額です。

230,231ページをご覧ください。

歳出の主なものは、1款 総務費 1項 施設管理費が大きく減額となっていますが、空調設備改修、電子カルテシステムの更新完了によるものです。

5款 諸支出金は、前年度の電子カルテシステム更新に際して一旦財源を一般会計から繰り入れ（借入）たため、当該財源の特別調整交付金を一般会計に繰り出す（返却）ものです。

議案第3号

令和3年度伊根町簡易水道特別会計予算 です。

243ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ1億5,209万4千円で、前年比1,330万円 9.6%の増額です。

248,249ページをご覧ください。

歳入では、4款 府支出金が大きく伸びていますが、朝妻地区の集落環境整備事業（送水管敷設替）によるものです。

250,251ページをご覧ください。歳出です。

2款 衛生費 で、伊根中央簡水の送水管敷設替え事業で旧朝妻小学校付近の区間で長寿命化計画に基づき耐震化を兼ねて実施します。

議案第4号

令和3年度伊根町下水道事業特別会計予算 です。

259ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ1億3,780万4千円で、前年比 1,143万6千円 9.0%の増額です。

264,265ページをご覧ください。歳入は、4款 府支出金と 9款 町債が長寿命化関係事業のため増額となっています。

266,267ページをご覧ください。

歳出です。主な増額は、2款 施設整備費で、長寿命化計画に基づく各終末処理場の機械設備の更新です。

議案第5号 令和3年度伊根町財産区特別会計予算 です。

275ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ91万円で、前年比 6千円 0.7%の減額です。

減額は、筒川財産区分で、貸付土地（寺領分）の減少によるものです。

議案第6号

令和3年度伊根町介護保険特別会計予算 です。

287ページをご覧ください。

保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ4億3,952万2千円で、前年比5,208万8千円 13.4%の増額です。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ94万6千円で、前年比6千円 0.6%の増額です。

292,293ページをご覧ください。

歳入は、歳出見込みに対する財源を法令に基づき積算したものです。

294、295ページの歳出は、被保険者数や前年度給付実績見込み等に基づいた給付費を計上しています。従来は3か年計画に基づいた給付見込み額を計上していましたが、実績見込みを反映させるなどして実際の給付額に近い予算となるよう積算いたしました。

322、323ページをご覧ください。

介護サービス事業勘定は、歳入として見込めるケアプランの作成業務をサービス収入に計上し、次のページの歳出では、1款 総務費でケアプラン作成に係る人件費などのほか、2款 事業費でケアプランを外部委託する経費を計上しています。

議案第7号

令和3年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 です。

331ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ2,658万9千円で、前年比40万9千円、1.6%の増額です。

歳入、歳出ともに概ね前年並みの予算計上で、前年度と同規模の訪問看護サービスの提供を計画し

ています。

議案第8号

令和3年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算
です。

345ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 4,352万5千円
で、前年比6万7千円 0.2%の増額です。

後期高齢者医療特別会計においても、前年度と
概ね同様の歳入歳出を計画しております。

特別会計を含む本町の令和3年度の予算案の説
明を申し上げました。

今年度は、前年度に引き続きコロナ禍を乗り越
えるための様々な方策を検討しなければなりません。
そのため現時点では想定できない事態に立ち
至ることも覚悟しておかなければなりません。

議員各位をはじめ、町民の皆様のお一層の御理
解と御支援、御協力を心からお願い申し上げまし
て、私の施政方針と当初予算の提案説明とさせて
いただきます。

なお、予算案の詳細な内容につきましては、全員協議会で担当課長等から説明させますのでよろしくお願いいたします。